

電気設備特記仕様書

I 工事概要

1. 工事場所 下関市豊前田町 地内
2. 建物概要

No.	建物名	構造	階数	棟数	延面積 (m ²)	消防防表	工事区分
1	アリーナ棟	SRC	6	1	6957.97	(16)イ	・新築 ・全館無人改修 ○執務並行改修
2							・新築 ・全館無人改修 ・執務並行改修
3							・新築 ・全館無人改修 ・執務並行改修
4							・新築 ・全館無人改修 ・執務並行改修
5							・新築 ・全館無人改修 ・執務並行改修

3. 工事種目 (○印のついたものを適用し、各一式とする。)

工事種目	建物名称					工事種目	建物名称				
	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5
構内配電線路設備	・	・	・	・	・	構内交換設備	・	・	・	・	・
受変電設備	・	・	・	・	・	情報表示設備	・	・	・	・	・
電灯設備	○	・	・	・	・	映像・音響設備	・	・	・	・	・
動力設備	・	・	・	・	・	拡声設備	・	・	・	・	・
電熱設備	・	・	・	・	・	誘導・管理設備	・	・	・	・	・
発電設備	・	・	・	・	・	テレビ共同受信設備	・	・	・	・	・
電力貯蔵設備	・	・	・	・	・	監視カメラ設備	・	・	・	・	・
雷保護設備	・	・	・	・	・	火災報知設備	・	・	・	・	・
構内通信線路設備	・	・	・	・	・	中央監視制御設備	・	・	・	・	・
構内情報通信網設備	・	・	・	・	・	テレビ電波障害防除設備	・	・	・	・	・

II 工事仕様

1. 共通仕様

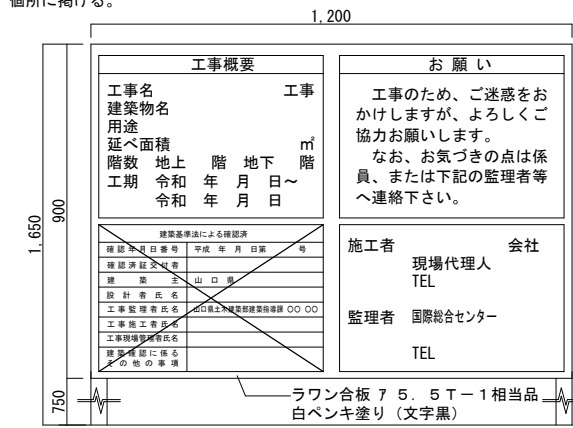
図面および特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)令和4年版」(以下「標準仕様書」という)及び「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事)令和4年版」(以下「改修標準仕様書」という)、「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)令和4年版」(以下「標準図」という)、「JIL公共施設用照明器具(2022年版)」、「山口県電気設備工事施工監理要領(建築指導課作成) (以下「施工監理要領」という)」による。
URL参照: 施工監理要領 (https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a18800/eizen/eizen_youshiki.html)

2. 特記事項の適用方法

- (1) 種目(設備)は○印がつけられたものを適用する。
- (2) 特記事項は○印のついたものを適用する。・印は適用しない。
○印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。○印と◎印のついた場合は、共に適用する。

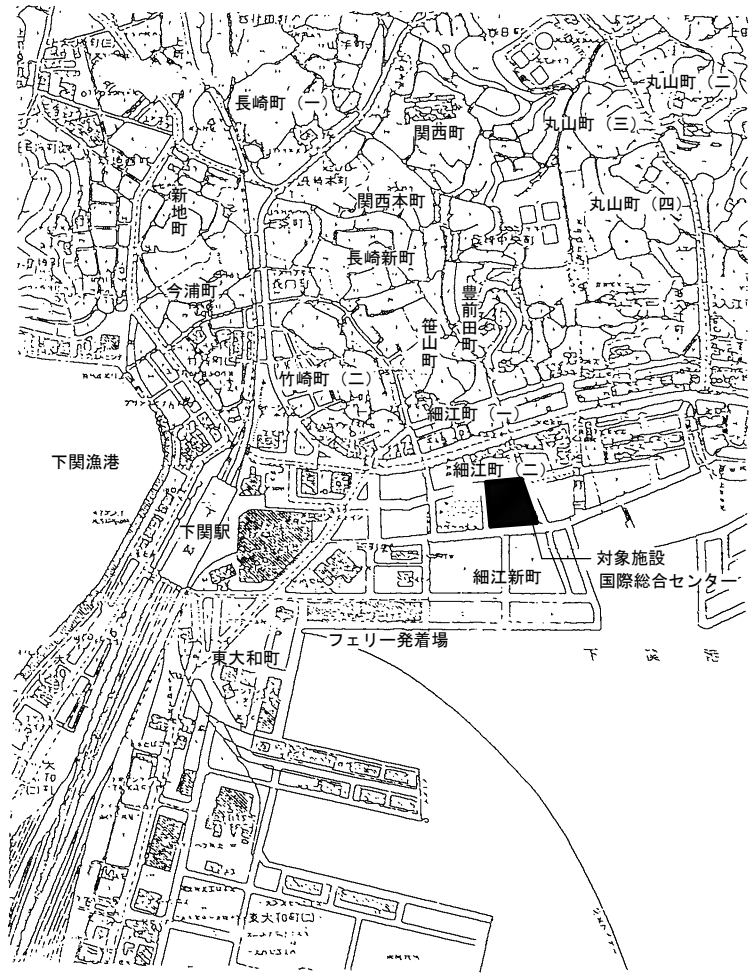
種目	項目	特記事項												
一般共通事項	耐震性能	設計用標準水平震度(Ks) <table border="1"><thead><tr><th></th><th>1階・地階</th><th>中間階</th><th>上階階等</th></tr></thead><tbody><tr><td>特定の施設</td><td>1.0(1.0)</td><td>1.5(1.5)</td><td>2.0(2.0)</td></tr><tr><td>○ 一般の施設</td><td>0.6(1.0)</td><td>1.0(1.5)</td><td>1.5(2.0)</td></tr></tbody></table> ()内は防震支持の場合に適用 一般の施設: 山口県営施設における耐震安全性の分類において、建築設備乙類に分類される施設を示す。		1階・地階	中間階	上階階等	特定の施設	1.0(1.0)	1.5(1.5)	2.0(2.0)	○ 一般の施設	0.6(1.0)	1.0(1.5)	1.5(2.0)
		1階・地階	中間階	上階階等										
	特定の施設	1.0(1.0)	1.5(1.5)	2.0(2.0)										
	○ 一般の施設	0.6(1.0)	1.0(1.5)	1.5(2.0)										
	耐荷重及び耐外力	建築基準法に基づき定められた区分等 風速 (m/s) ※ 34 地表面粗度区分 (○ II ※ III) 垂直積雪量 ※ 0.3m () m												
	施工調査	※ 施工に先立ち改修工事関連部分の事前確認を行い、監督職員に報告する。 ※ 改修工事関連部分のアスベスト含有建材は事前調査を行い監督職員に報告する。 ○ 工事発注時アスベスト含有建材の有無 (※ 有 (・レベル1 ・レベル2 ※レベル3) ・無) ○ 撤去する照明器具がある場合は、PCBの有無を確認し、監督職員に報告する。 ○ 撤去する変圧器等の微量PCB分析を行う。(分析費用 ※ 本工事 ・ 別途)												
	発生材の処理等(1.3.9)	発生材の処理にあたっては、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」、「資源の有効な利用の促進に関する法律」、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「建設副産物適正処理推進要綱」、「建設廃棄物処理指針」、「入札条件及び指示事項」その他関係法令等に従い適切な処理を行う。												
	舗装切断及び穿孔	切断及び穿孔作業時に発生する排水を回収し、産業廃棄物として適正に処理すること。 回収した排水を現場から搬出する場合は、搬出時点での排水のpHを測定し、その結果を写真等に記録すること。この際、pHが12.5以上の場合は特別管理廃棄物として処理すること。 pHの測定方法 (※ 携帯式簡易測定器) 監督職員へマニフェストと共にpHの測定結果の提示を行うこと。												
	建設発生土の処理	※ 場内指示の場所に敷き均し ・ 場外搬出処分 (※ 公共残土処分場 ・ 任意処分) 山口県グリーン購入の推進方針及びグリーン購入ガイド(最新版)に基づき材料の調達を行う。 (以下「グリーン購入による」という)												
	環境への配慮(1.4.1)	化学物質を放散させる建築材料等 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとする。 塗料は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。												
着工時の提出図書	工事請負契約書に定められたもののほか、次のものを監督職員の指示に従い着工時に提出すること。 ※ 工事用製本図面 (工事用A2版) (5) 部 (縮小版A3版) (0) 部													

施工計画書等(1.2.2)	※ 工事の着手に先立ち、総合施工計画書を作成し監督職員に提出する。 ※ 監督職員の指示する工種別の施工計画書を作成し、監督職員に提出する。 ※ 品質計画については施工計画書に必ず記載すること。 総合図の作成 ※要 ・ 不要 ・ 発注者で選任する。(経産省への届出資料作成等は本工事に含む) ※不要 ※ 電気工作物にかかる工事においては、電気保安技術者をおく。 下記のものを監督職員に提出する。
総合図	総合図の作成 ※要 ・ 不要 ・ 発注者で選任する。(経産省への届出資料作成等は本工事に含む) ※不要 ※ 電気工作物にかかる工事においては、電気保安技術者をおく。 下記のものを監督職員に提出する。
完成時の提出図書(1.7.1)	分類・規格 撮影場所 部数 備考 ※ カラー ※ サービス版相当 適宜 1部 電子データ共 ※ 電子データの提出方法については「工事完成図書電子納品要領」及び「電子納品に関する手続き【営繕系工事編】」による。 工事写真の撮影及び整理方法は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「工事写真撮影ガイドブック電気設備工事編」「営繕工事写真撮影要領(最新版)」及び「デジタル工事写真の小黑板情報電子化基準」による。 ※ 完成図書は、A4版黒紙で次の部数提出する。 ・ 学校工事 1部 ○その他工事 2部 詳細は、施工監理要領によるほか監督職員の指示による。 ※ 竣工図(修正した設計図の二つ折り製本図面)を次の部数提出する。 ・ 学校工事 2部 ○その他工事 2部 詳細は入札条件及び指示事項書による。 ※ 竣工図のCADデータをメディア等で1部提出する。 施工図の二つ折り製本 (○要 (部) ・ 不要) 施工図のCADデータ (○要 ・ 不要) なお、施工図等の著作権に係る当該建築物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。 イ) 図面特記のない場合、下表による。 ロ) 他工事との取り扱い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。
施工図	他工事との取り扱い 鉄筋コンクリート壁、床及び梁等における設備(埋込) 開口部補強 ※ ・ ・ 壁、ブルボックス、ダクト、配管等)の仮枠、箱入れ 電気のスリーブ等 ・ ※ ・ 及び貫通スリーブ 機械のスリーブ等 ・ ・ ※ 埋込型設備機器取付箇所の床、壁、天井ボード類の切込み及び地下補強 切込み及び補強 ※ ・ ・ 電気墨出し ・ ※ ・ 機械墨出し ・ ・ ※ 電気室、自家発電機室などの基礎及びビット 基礎及びビット ※ ・ ・ (ふた含) 電気墨出し ・ ※ ・ 天井点検口 ※ ・ ・ 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地 ・ ※ ・ 機器類の吊りボルト用インサート 電気設備 ・ ※ ・ 機械設備 ・ ・ ※ 機器類の取付け用アンカーボルト 電気設備 ・ ※ ・ 機械設備 ・ ・ ※
その他工事との取り扱い	コンクリート基礎(外灯設備) ・ ※ ・ コンクリート基礎(機械設備機器類) 屋上設置 ※ ・ ・ 屋内設置 ・ ・ ・ 屋外設置 ・ ・ ・ オイルサービスタンク防油堤 ※ ・ ・ 自動閉閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアチェック、フロアヒンジ ※ ・ ・ OAフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強 ※ ・ ・ OAフロア・フリーアクセスフロア仕上げ材の切込み及び補強 ※ ・ ・ 外壁取付けガラリ ※ ・ ・ 換気扇枠、アルミパネル開口(ストッパー取付を含む) ※ ・ ・ 建築工事に含む設備機器付属の制御盤及び操作盤の配管・配線 1次側(電源) ・ ※ ・ 2次側(盤含む) ※ ・ ・ 機械設備工事に含む設備機器付属の制御盤及び操作盤の配管・配線 1次側(電源) ・ ※ ・ 2次側(盤含む) ・ ・ ※ 機械設備制御盤から別途盤類への渡り配管・配線の接続 ・ ※ ・ エアコン、空調機集中管理リモコン等の遠方操作スイッチの配管 エアコン、空調機集中管理リモコン等の遠方操作スイッチの配線 ・ ・ ※ エアコン、空調機集中管理リモコン等の本体及び本体取付 エアコン、空調機集中管理リモコン等の本体及び本体取付 ・ ・ ※ エアコンの室内、室外ユニット間の渡り配線(アースとも) ・ ・ ※ 換気機器用スイッチ本体(空調換気扇用、24時間換気用を除く) ・ ※ ・ 換気機器用スイッチの配管・配線及びスイッチ取付 ・ ※ ・ 機械設備工事に含む遮断弁装置の操作器及び感知器の配管・配線 ・ ※ ・ 機械設備工事に含む電極の配管・配線 ・ ※ ・ 擬音装置の埋込ボックス ・ ・ ※ 電気開閉式大便器用洗浄弁の一次側電源の配管・配線 ・ ※ ・ 電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ間の配管 ・ ※ ・ 電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ間の配線 ・ ・ ※ ガス給湯器等のアース配線 ・ ・ ※ 屋内、屋外雨水管 ※ ・ ・
作業主任者	※ 下記の作業等においては作業主任者として技能講習修了者を選任する。(安衛則) ・ 足場の組立作業(565条) ・ 地山の掘削作業(359条) ・ 土止めの支保工作業(374条)
作業指揮者	※ 下記の作業等においては作業指揮者を指名すること。(安衛規) ・ 高所作業車(194条) ・ 停電作業(350条) ・ 危険物の取扱作業(257条)
特殊車両	※ 車両制限令第3条における一般的制限値を越える車両を通行させるときは、事前に道路法第47条の2に基づく通行許可証の写しを監督職員に提出すること。

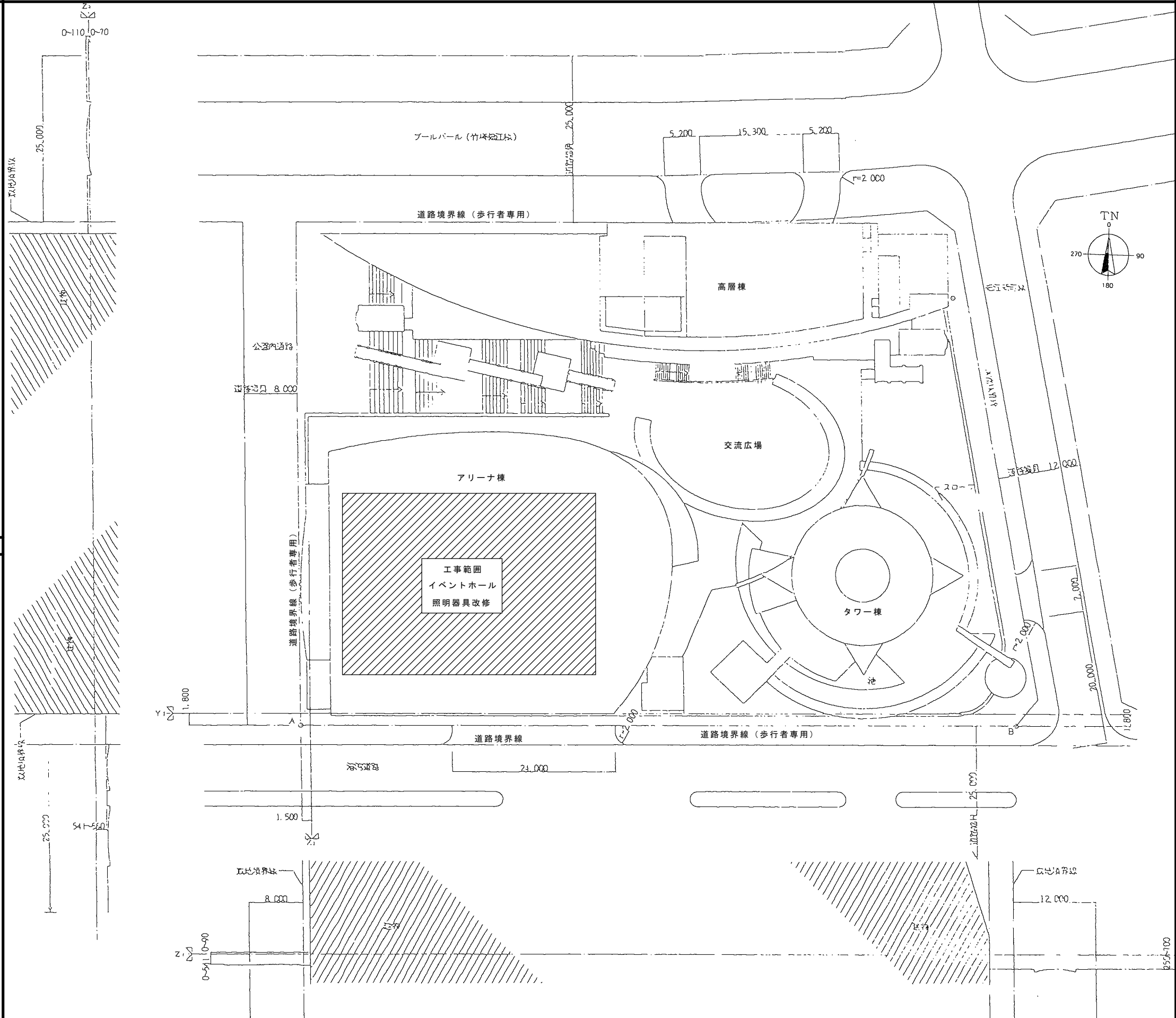
仮設工事	工事表示板	○ 工事表示板は下図による。 退還共加入証、建設業の許可票、施工体系図、労災保険関係成立票、並びに石綿調査結果を見やすい箇所に掲げる。  1,200 900 750 ラワン合板 7.5 T-1 相当品 白ペンキ塗り(文字黒)				
	仮設物	※ 工事用材料置場、作業小屋、倉庫、仮事務所等の仮設物は、あらかじめ仮設工事計画書を作成し、監督職員と協議のこと。 ※ 別途工事 ・ 本工事 (m程度) ・ 備品など () 構内既存の施設 ・ 利用できる (※有償 ○無償) ※ 利用できない 構内既存の施設 ・ 利用できる (※有償 ○無償) ※ 利用できない 仮設電話 ・ 要 ※ 不要 仮囲い・さく等 ・ 要 ※ 不要				
共通工事	接地極	※ A種、B種、C種は、銅板 900 ² t=1.5 とし、D種は、連結式接地棒とする。 ○ 既設利用(種類: C種) ・ 測定要) ※ 90mm×140mm×1mm以上の(※黄銅板・SUS板)で指定文字を刻印で表示 スリーブ工事 標準仕様書 第1編第2章第9節(表2.9.1)による。 金属管の塗装ヶ所 ・ 下記場所の露出金属製電線管は、指定色塗装とする。 ・ 居室 ・ 倉庫等 ・ 機械室等 ・ EPS、DS PF管 PF管の使用は原則として(16)及び(22)とする。 フラッシュプレート ※ 樹脂製 ・ ステンレス製 ・ 新金属製 プレートの用途別表示 ※ 器具を実装しないものについては用途を明示する。 予備品等 ※ 標準仕様書による。(監督職員に書面による報告を行うこと。) 機器の検査 ※ 標準仕様書及び改修標準書による。(監督職員に出来形管理図による報告を行うこと。) 施工の検査 ※ 接着系あと施工アンカーを施工する場合は、以下の資格者が施工すること。 第1種あと施工アンカー施工士 第2種あと施工アンカー施工士(直径12mm以下のみ) なお、接着系あと施工アンカーの施工後確認試験は、引張試験機による引張試験を行うこと。				
	構内線路	ケーブルの余長 管路の埋め戻し 埋設標示シート ※ 地中線路の場合マンホール、ハンドホール内で余長を見込む。(端部) ※ 管の上端10cm程度までは、真砂土または砂で敷き固める。 ※ 高圧、低圧、通信の各線路ごとに埋設シート(2倍長)を敷設する。ただし、ハンドホールを共用するルートは優先度の高いものに統一できる。 ※ 埋設管路のルートには、ハンドホール近辺に鋳鉄製埋設柱等で、方向、種別を標示する。 ※ 要 埋設標示柱 分電盤予備回路の配管				
○ 電設備	位置ボックス	※ 引掛けシーリング、埋込ローゼットの裏ボックスは金属製とする。(耐荷重性) ※ 区画壁に設置するボックスは金属製とする。 ※ 外壁に打ち込むボックスは結露防止型とする。 ・ 測定する場所:				
	照度測定	※ 測定する場所:				
・ 発電設備	発電機	・ 3相3線式 V KVAクラス ※ キュービクル型(騒音 dB) ・ 開放型 ※ 軽油 ・ A重油 ・ 鋼板製 ・ SUS製 容量: L 地下オイルタンク ・ 本工事 ・ 別途工事 容量: L ※ 要 ※ 製造者標準品一式 太陽光発電 kW				
	燃料小出し槽	※ 要 ※ 製造者標準品一式 太陽光発電 kW				
3. 機器取付高さ	機器取付高さは、下記を原則とする。					
	名称	測点	取付高 mm	名称	測点	取付高 mm
	取引用計器	地上~中心	1,800~2,200	受信機副受信機(壁掛)	床上~中心	1,200
	引込開閉器	床上~中心	1,500	分布型感知器	床上~中心	1,700
	分電盤(住宅用を除く)	床上~中心	1,500	発信機	床上~中心	1,500
	ブラケット(洗面器)	鏡上	150	消火栓表示灯	床上~中心	1,900
	ブラケット(階段踊場)	床上~中心	2,000~2,500	ベル	床上~中心	2,300
	スイッチ(一般)	床上~中心	1,300	感知器(差動型)試験器	床上~中心	1,500
	スイッチ(多目的便所)	床上~中心	1,100	呼出ブザー	天井下~中心	300
	コンセント(一般)	床上~中心	300	押ボタン(屋外)	床上~中心	1,500
	コンセント(台上)	台上~中心	200	押ボタン(屋内)	床上~中心	1,300
	コンセント(土間)	床上~中心	800	呼出ボタン(多目的便所)	床上~中心	500
	手元開閉器	床上~中心	1,500	復帰ボタン(多目的便所)	床上~中心	1,800
	壁掛型制御盤	床上~中心	1,500	インターホン(壁掛)	床上~中心	1,400
	表示灯	床上~中心	2,000~2,500	壁掛型時計	床上~中心	1,500
	端子盤	床上~下端	700	子時計	天井下~中心	400
	保安器ボックス	床上~下端	2,000	時報ブザー	天井下~中心	300
	電話位置ボックス壁	コンセントに準ずる		壁付音量調節器	床上~中心	1,300
	テレビ端子	コンセントに準ずる		壁用スピーカー表示器	天井下~中心	400
					天井下~中心	400

設計者(建築設備士)	年度	6	工事名	山口県国際総合センターイベントホール照明設備改修工事	電気設備特記仕様書	17	1
勤務先()氏名()登録番号()	山口県国際総合センター		級建築士登録 第 号	設計変更 回			
機械設備設計に関し意見を聞いた建築設備士							
勤務先()氏名()登録番号()							

付近見取り図 (S=None)



配置図 (S=1/400)



参考工程表 (契約工期: 210日)

項目	1	2	3	4	5	6	7	備考
準備期間	(30日)							
現地調査		(20日)						
製作・材料調達			(100日)					
配線工事								
撤去工事								
設置工事								
試験調整							(10日)	
後片付け							(20日)	

※令和7年3月25日までに完成検査を実施すること。

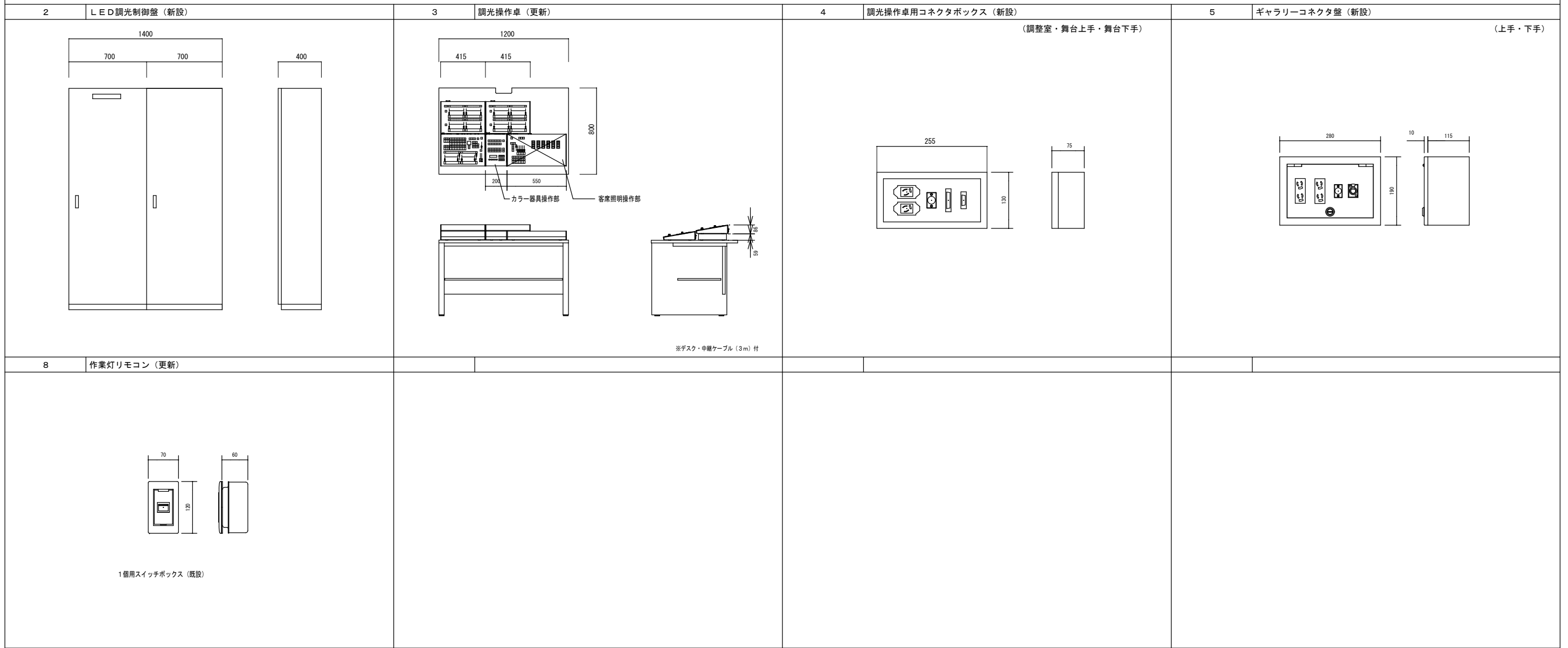
特記仕様書	調光装置仕様書																																																																
<p><1>工事概要 本工事は、海峡メッセ下関4 F イベントホールのLED化更新を行うものとする。</p> <p><2>施工範囲 本工事の施工範囲は、下記仕様書によるものとし、機器搬入及び取付調整とする。 また、施工にあたってはホール及びホール内設備に損傷を与えた場合は、監督員の指示により復旧するものとする。</p> <p>(1) 調光盤 既設 (一部未使用) (2) LED調光制御盤 新設 (3) 調光操作卓 更新 (4) 調光操作卓用コネクタボックス (調整室・舞台上手・舞台下手) 新設 (5) ギャラリーコネクタ盤 (上手・下手) 新設 (6) 客席床コネクタ盤 既設 (7) 舞台袖操作卓 撤去 (8) 作業灯リモコン 更新</p> <p><3>適用基準 この特記事項以外は、下記に準拠するものとする。但し、本工事に関係しない事項は適用しないものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事請負契約書 ・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(電気設備工編)」(最新版) ・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築設備工事標準図(電気設備工編)」(最新版) ・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工編)」(最新版) ・その他関係法規並びに諸工事基準 <p><5>その他 本図面の仕様において、製造者による軽微な差異は、監督員の承諾を受け、変更することが出来るものとする。</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="813 119 884 142">1</td> <td data-bbox="884 119 1484 142">調光盤 (既設) (一部未使用)</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="813 163 1484 268"> <ol style="list-style-type: none"> 調光盤は既設使用とする。 LED調光制御盤への幹線分岐及び配線振替、既設調光盤の改造については既設調光盤の製造者の責任においてのみ行うこととする。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="813 279 884 302">2</td> <td data-bbox="884 279 1484 302">LED調光制御盤 (新設)</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="813 323 1484 949"> <ol style="list-style-type: none"> 入力電源を受電し、各直回路ブレーカ等に分岐給電する単独盤で、入力主幹ブレーカを備えたものとする。 盤は壁据置・自立型とし、本体・扉共にt1.6以上の鋼板を使用するものとする。 内扉内は充電部が露出しない構造とするものとし、内部配線は環境に配慮したエコ電線を使用するものとする。 塗装は指定色焼付塗装仕上げとする。 作業灯切換や誘導灯運動制御等の機能を持つ制御部を備えるものとする。 制御部への調光制御信号は、DMX512(1990)最大4系統及びEthernet(専用プロトコル、Art-Net、sACN)によるものとする。 制御部よりDMX512信号及びEthernet(専用プロトコル、Art-Net、sACN)を各所へ出力できるものとする。 電源電圧は定格電圧の90%~110%、周囲温度はJISC8480に準拠し、-5℃~40℃(24時間を通じた平均値で35℃以下)で安定動作するものとする。 各直回路の分岐ブレーカは、電気用品安全法一特定電気用品配線用遮断器の2種切りとする。 操作卓類OFF時に負荷電源をOFFし、LED照明負荷の特機電力を自動的にカットする電源管理機能を有するものとする。また、外部からの専用伝送信号等による個別回路のON/OFF操作にも対応できるものとする。 PWM信号制御LED客席照明を調光制御する調光信号1/Fを実装するものとし、最大50台/系統(但し200台/10系統)のPWM調光信号を各所へ出力できるものとする。 信号1/Fは操作卓類からのDMX信号が途絶えた際、客席照明を消灯させるモードと、直前の点灯状態を保持するモードのいずれかを各系統毎選択できるものとする。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="813 959 884 982">3</td> <td data-bbox="884 959 1484 982">調光操作卓 (更新)</td> </tr> </table> <p>[1] 演出照明操作部</p> <p>【仕様】</p> <table border="0"> <tr> <td>・入力電圧</td> <td>AC100V±10% 50/60Hz</td> </tr> <tr> <td>・制御信号</td> <td>DMX512 (USITT1990)</td> </tr> <tr> <td>・最大制御回路(ディマー)数</td> <td>1024回路(うちカラー制御512回路)</td> </tr> <tr> <td>・最大制御チャンネル数</td> <td>80チャンネル+カラー制御512チャンネル</td> </tr> <tr> <td>・記憶シーン数</td> <td>20ケ×10ページ×3場面(600シーン)</td> </tr> <tr> <td>・シーン再生方式</td> <td>クロス再生、シーンボタン再生</td> </tr> <tr> <td>・サブマスタの記憶容量</td> <td>20シーン×3場面(60シーン)</td> </tr> <tr> <td>・自動再生パターン数</td> <td>3パターン(20ステップ)/場面</td> </tr> <tr> <td>・自動再生チャンネル</td> <td>80チャンネル+カラー制御512チャンネル</td> </tr> <tr> <td>・自動再生同時再生</td> <td>最大3パターン</td> </tr> <tr> <td>・パッチ場面数</td> <td>3場面(デフォルト設定可能)</td> </tr> <tr> <td>・プリセットフェーダ数</td> <td>40本×2段</td> </tr> <tr> <td>・1段使用モード時</td> <td>80本×1段</td> </tr> <tr> <td>・チャンネルP/Fスイッチ</td> <td>80個</td> </tr> <tr> <td>・カラー器具グループ登録数</td> <td>16グループ(合計512チャンネル以内)</td> </tr> <tr> <td>・最大制御パラメータ数</td> <td>20チャンネル/台</td> </tr> <tr> <td>・カラー記憶パターン数</td> <td>16パターン (固定色:8パターン/フリー色:8パターン)</td> </tr> <tr> <td>・周囲環境</td> <td>周囲温度 0~40℃ 周囲湿度 45~85% (但し結露しないこと)</td> </tr> </table> <p>【構成】</p> <ol style="list-style-type: none"> 操作部は設定部、再生部、サブマスタ部、シーン部、マスタ部、場面変更部を備えたメインパネルとプリセットパネル及びカラーコントロールパネル等の機能別分割構成とするものとする。 設定部には各機能スイッチ×1式、上下カーソル操作スイッチ×1組、7セグ表示器×1式等を設けるものとする。 再生部にはクロスフェーダ×1組、シーン/プリセット再生切替スイッチ×1ケ、自動調光スイッチ(明・設・止・暗)等を設けるものとする。 サブマスタ部にはサブマスタフェーダ×20本、ピアノスイッチ×20ケ等を設けるものとする。 	1	調光盤 (既設) (一部未使用)	<ol style="list-style-type: none"> 調光盤は既設使用とする。 LED調光制御盤への幹線分岐及び配線振替、既設調光盤の改造については既設調光盤の製造者の責任においてのみ行うこととする。 		2	LED調光制御盤 (新設)	<ol style="list-style-type: none"> 入力電源を受電し、各直回路ブレーカ等に分岐給電する単独盤で、入力主幹ブレーカを備えたものとする。 盤は壁据置・自立型とし、本体・扉共にt1.6以上の鋼板を使用するものとする。 内扉内は充電部が露出しない構造とするものとし、内部配線は環境に配慮したエコ電線を使用するものとする。 塗装は指定色焼付塗装仕上げとする。 作業灯切換や誘導灯運動制御等の機能を持つ制御部を備えるものとする。 制御部への調光制御信号は、DMX512(1990)最大4系統及びEthernet(専用プロトコル、Art-Net、sACN)によるものとする。 制御部よりDMX512信号及びEthernet(専用プロトコル、Art-Net、sACN)を各所へ出力できるものとする。 電源電圧は定格電圧の90%~110%、周囲温度はJISC8480に準拠し、-5℃~40℃(24時間を通じた平均値で35℃以下)で安定動作するものとする。 各直回路の分岐ブレーカは、電気用品安全法一特定電気用品配線用遮断器の2種切りとする。 操作卓類OFF時に負荷電源をOFFし、LED照明負荷の特機電力を自動的にカットする電源管理機能を有するものとする。また、外部からの専用伝送信号等による個別回路のON/OFF操作にも対応できるものとする。 PWM信号制御LED客席照明を調光制御する調光信号1/Fを実装するものとし、最大50台/系統(但し200台/10系統)のPWM調光信号を各所へ出力できるものとする。 信号1/Fは操作卓類からのDMX信号が途絶えた際、客席照明を消灯させるモードと、直前の点灯状態を保持するモードのいずれかを各系統毎選択できるものとする。 		3	調光操作卓 (更新)	・入力電圧	AC100V±10% 50/60Hz	・制御信号	DMX512 (USITT1990)	・最大制御回路(ディマー)数	1024回路(うちカラー制御512回路)	・最大制御チャンネル数	80チャンネル+カラー制御512チャンネル	・記憶シーン数	20ケ×10ページ×3場面(600シーン)	・シーン再生方式	クロス再生、シーンボタン再生	・サブマスタの記憶容量	20シーン×3場面(60シーン)	・自動再生パターン数	3パターン(20ステップ)/場面	・自動再生チャンネル	80チャンネル+カラー制御512チャンネル	・自動再生同時再生	最大3パターン	・パッチ場面数	3場面(デフォルト設定可能)	・プリセットフェーダ数	40本×2段	・1段使用モード時	80本×1段	・チャンネルP/Fスイッチ	80個	・カラー器具グループ登録数	16グループ(合計512チャンネル以内)	・最大制御パラメータ数	20チャンネル/台	・カラー記憶パターン数	16パターン (固定色:8パターン/フリー色:8パターン)	・周囲環境	周囲温度 0~40℃ 周囲湿度 45~85% (但し結露しないこと)	<ol style="list-style-type: none"> シーン部にはシーン選択スイッチ×20ケ、ページ選択スイッチ×10ケ、自動再生スイッチ×3ケ等を備えるものとする。 マスタ部にはグラッドマスタフェーダ×1本等を設けるものとする。 場面変更部には場面変更スイッチ×3ケ等を備えるものとする。 プリセットパネルにはプリセットフェーダ40本×2段、P/F、パッチ設定スイッチ×80ケ等を設けるものとする。 プリセットフェーダには負荷名・サブマスタ及びシーンスイッチにはシーン名が記入できる仕込み記入板を設けるものとする。 カラーコントロールパネルには器具グループ選択スイッチ×16ケ、カラー選択スイッチ×16ケ、パラメータ操作エンコーダ×5ケ、パラメータ表示LCD×1式等を設けるものとする。また、各選択スイッチには器具名称等が記入できる仕込み記入板を設けるものとする。 <p>【パッチ機能】</p> <ol style="list-style-type: none"> メインパネルで、チャンネル(最大80CH)対ディマー(512回路)を任意に選択接続できるものとし、その接続はディマー番号を表示させた表示器とプリセットフェーダ上のスイッチで設定出来るものとする。 パッチ場面は3場面設定出来るものとする。 調光仕込みできるものとする。 操作卓の電源をOFFして、任意の場面を選択して起動させると、特殊モードで設定したA場面がその選択した場面にコピーされて起動されるものとする。 ネットワークパソコンにて、調光仕込み、個々払い、一括払いができるものとする。また、チャンネルとディマーを同一番号に設定する1:1仕込みできるものとする。 <p>【手動プリセット調光機能】</p> <ol style="list-style-type: none"> 40本×2段のプリセットフェーダとクロスフェーダを用い手動プリセット調光操作ができるものとする。 2段プリセット機能による明かりの設定方法に加え、2段のプリセットフェーダを1段プリセット機能に切替えることにより、80チャンネルまでの明かりを一度に設定できるものとする。 プリセットフェーダ毎にP/Fスイッチを備え、各チャンネル制御を瞬時に一段目のプリセットフェーダ(F:フリー)出力にすることが出来るものとする。 <p>【カラー演出機能】</p> <ol style="list-style-type: none"> 16個の器具グループ選択スイッチを設け、フルカラー照明の調整ができるものとする。 この器具グループの回路は、プリセットフェーダチャンネルとは別とし合計512チャンネルの範囲内であれば製造メーカーを問わず制御が行えるものとする。但し、1台当たりのパラメータ(チャンネル数)の最大値は20チャンネル以内とする。 色の設定は、予め設けられた6色のカラー選択スイッチにより簡単に設定が行え、更にその色の変更操作は5個のエンコーダ操作で色合い等調整が任意に行えるものとする。 予め設けられた6色に全点灯(白色)/全消灯(暗転)を含めた固定色8パターンと併せて、エンコーダ操作により作成された色を、フリー色として8パターン記憶することが出来るものとする。 <p>【記憶機能】</p> <ol style="list-style-type: none"> 最大200シーン/場面の記憶が可能なものとする。 記憶の設定は、記憶ボタンを使用するものとする。 フェードタイムの時間指定が行えるものとし、フェードタイムは0~999秒の設定ができるものとする。 最大20シーン/場面のサブマスタが記憶できるものとする。 最大3パターン/場面/パターンの自動再生が記憶できるものとする。 自動再生は80チャンネル及びカラー制御512チャンネル全てのチャンネルが使用できるものとする。 自動再生はシーンと別に最大20ステップまで記憶できるものとする。 <p>【記憶修正・編集機能】</p> <ol style="list-style-type: none"> 記憶されているシーンやサブマスタのデータをプリセットフェーダ及びパラメータ操作エンコーダにて修正できるものとする。 <p>【記憶再生機能】</p> <p>a. シーン再生</p> <ol style="list-style-type: none"> シーン選択スイッチによるシーン転換が行えるものとする。 クロスフェーダによるシーン転換が行えるものとする。 <p>b. サブマスタフェーダによる再生</p> <ol style="list-style-type: none"> サブマスタは合計20本×3場面=60シーンの再生ができるものとする。 <p>c. 自動再生</p> <ol style="list-style-type: none"> 自動再生は同時に3個できるものとする。 <p>【表示機能】</p> <ol style="list-style-type: none"> 記憶されたデータの設定状態や動作状態は、表示器に表示できるものとする。 表示データは主として次のようなものとする。 (1)ディマー番号 (2)フェード時間 (3)フェーダレベル 	<p>[2] 客席照明操作部</p> <p>【構成】</p> <ol style="list-style-type: none"> 操作主幹押釦×1ケ、操作場所選択押釦×1組(卓/遠方1・2)、操作選択押釦×1組(記憶/自動/手動)、マスタフェーダ×1本、シングルフェーダ×5本、自動調光押釦×1組(明・設・止・暗)、ON/OFFスイッチ×8ケ×2組(シーン/フリー切換)等を配列するものとする。 <p>【操作場所選択機能】</p> <ol style="list-style-type: none"> 操作卓操作場所選択スイッチにより、調光操作卓の操作場所選択ができるものとする。 <p>【客席照明操作機能】</p> <ol style="list-style-type: none"> 客席照明は、手動フェーダや自動調光押釦により調光操作ができるものとする。 リモコンスイッチより、予め決められた負荷を点灯させることが行えるものとする。 <table border="1"> <tr> <td data-bbox="2208 464 2279 487">4</td> <td data-bbox="2279 464 2875 487">調光操作卓用コネクタボックス (調整室・舞台上手・舞台下手) (新設)</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="2208 497 2875 560"> <ol style="list-style-type: none"> 調光操作卓が容易に接続できるものとする。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="2208 571 2279 594">5</td> <td data-bbox="2279 571 2875 594">ギャラリーコネクタ盤 (上手・下手) (新設)</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="2208 604 2875 667"> <ol style="list-style-type: none"> 持込卓及び器具が容易に接続できるものとする。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="2208 678 2279 701">6</td> <td data-bbox="2279 678 2875 701">客席床コネクタ盤 (既設)</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="2208 711 2875 774"> <ol style="list-style-type: none"> 客席床コネクタ盤は既設使用とする。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="2208 785 2279 808">8</td> <td data-bbox="2279 785 2875 808">作業灯リモコン (更新)</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="2208 819 2875 882"> <ol style="list-style-type: none"> スイッチ操作により、予め決められた負荷を点灯させることが行えるものとする。 </td> </tr> </table>	4	調光操作卓用コネクタボックス (調整室・舞台上手・舞台下手) (新設)	<ol style="list-style-type: none"> 調光操作卓が容易に接続できるものとする。 		5	ギャラリーコネクタ盤 (上手・下手) (新設)	<ol style="list-style-type: none"> 持込卓及び器具が容易に接続できるものとする。 		6	客席床コネクタ盤 (既設)	<ol style="list-style-type: none"> 客席床コネクタ盤は既設使用とする。 		8	作業灯リモコン (更新)	<ol style="list-style-type: none"> スイッチ操作により、予め決められた負荷を点灯させることが行えるものとする。 	
1	調光盤 (既設) (一部未使用)																																																																
<ol style="list-style-type: none"> 調光盤は既設使用とする。 LED調光制御盤への幹線分岐及び配線振替、既設調光盤の改造については既設調光盤の製造者の責任においてのみ行うこととする。 																																																																	
2	LED調光制御盤 (新設)																																																																
<ol style="list-style-type: none"> 入力電源を受電し、各直回路ブレーカ等に分岐給電する単独盤で、入力主幹ブレーカを備えたものとする。 盤は壁据置・自立型とし、本体・扉共にt1.6以上の鋼板を使用するものとする。 内扉内は充電部が露出しない構造とするものとし、内部配線は環境に配慮したエコ電線を使用するものとする。 塗装は指定色焼付塗装仕上げとする。 作業灯切換や誘導灯運動制御等の機能を持つ制御部を備えるものとする。 制御部への調光制御信号は、DMX512(1990)最大4系統及びEthernet(専用プロトコル、Art-Net、sACN)によるものとする。 制御部よりDMX512信号及びEthernet(専用プロトコル、Art-Net、sACN)を各所へ出力できるものとする。 電源電圧は定格電圧の90%~110%、周囲温度はJISC8480に準拠し、-5℃~40℃(24時間を通じた平均値で35℃以下)で安定動作するものとする。 各直回路の分岐ブレーカは、電気用品安全法一特定電気用品配線用遮断器の2種切りとする。 操作卓類OFF時に負荷電源をOFFし、LED照明負荷の特機電力を自動的にカットする電源管理機能を有するものとする。また、外部からの専用伝送信号等による個別回路のON/OFF操作にも対応できるものとする。 PWM信号制御LED客席照明を調光制御する調光信号1/Fを実装するものとし、最大50台/系統(但し200台/10系統)のPWM調光信号を各所へ出力できるものとする。 信号1/Fは操作卓類からのDMX信号が途絶えた際、客席照明を消灯させるモードと、直前の点灯状態を保持するモードのいずれかを各系統毎選択できるものとする。 																																																																	
3	調光操作卓 (更新)																																																																
・入力電圧	AC100V±10% 50/60Hz																																																																
・制御信号	DMX512 (USITT1990)																																																																
・最大制御回路(ディマー)数	1024回路(うちカラー制御512回路)																																																																
・最大制御チャンネル数	80チャンネル+カラー制御512チャンネル																																																																
・記憶シーン数	20ケ×10ページ×3場面(600シーン)																																																																
・シーン再生方式	クロス再生、シーンボタン再生																																																																
・サブマスタの記憶容量	20シーン×3場面(60シーン)																																																																
・自動再生パターン数	3パターン(20ステップ)/場面																																																																
・自動再生チャンネル	80チャンネル+カラー制御512チャンネル																																																																
・自動再生同時再生	最大3パターン																																																																
・パッチ場面数	3場面(デフォルト設定可能)																																																																
・プリセットフェーダ数	40本×2段																																																																
・1段使用モード時	80本×1段																																																																
・チャンネルP/Fスイッチ	80個																																																																
・カラー器具グループ登録数	16グループ(合計512チャンネル以内)																																																																
・最大制御パラメータ数	20チャンネル/台																																																																
・カラー記憶パターン数	16パターン (固定色:8パターン/フリー色:8パターン)																																																																
・周囲環境	周囲温度 0~40℃ 周囲湿度 45~85% (但し結露しないこと)																																																																
4	調光操作卓用コネクタボックス (調整室・舞台上手・舞台下手) (新設)																																																																
<ol style="list-style-type: none"> 調光操作卓が容易に接続できるものとする。 																																																																	
5	ギャラリーコネクタ盤 (上手・下手) (新設)																																																																
<ol style="list-style-type: none"> 持込卓及び器具が容易に接続できるものとする。 																																																																	
6	客席床コネクタ盤 (既設)																																																																
<ol style="list-style-type: none"> 客席床コネクタ盤は既設使用とする。 																																																																	
8	作業灯リモコン (更新)																																																																
<ol style="list-style-type: none"> スイッチ操作により、予め決められた負荷を点灯させることが行えるものとする。 																																																																	
	<p>年度</p> <p>6</p> <p>山口県国際総合センター</p>	<p>工事名</p> <p>山口県国際総合センターイベントホール照明設備改修工事</p> <p>級建築士登録 第 号</p> <p>印</p>	<p>特記仕様書、調光装置仕様書</p> <p>設計変更 回</p>																																																														
17	—	4	—																																																														

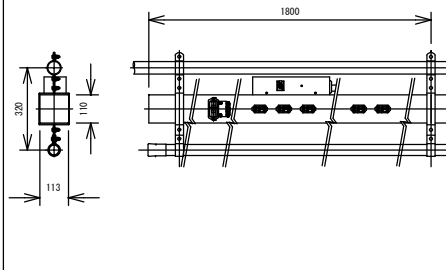
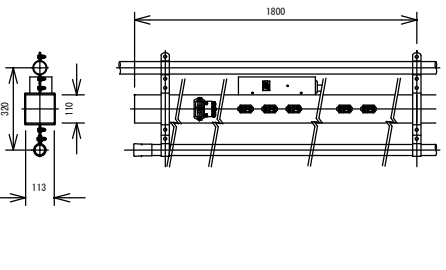
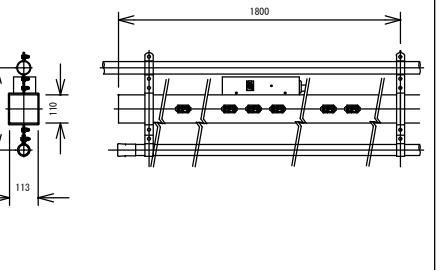
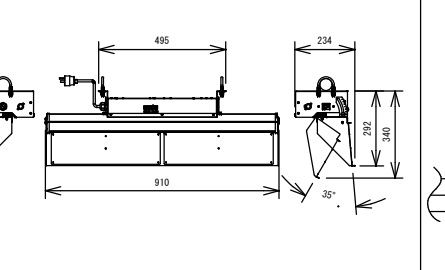
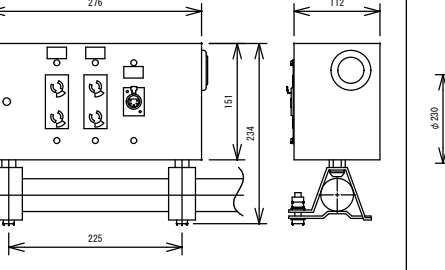
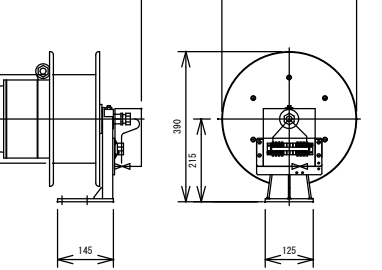
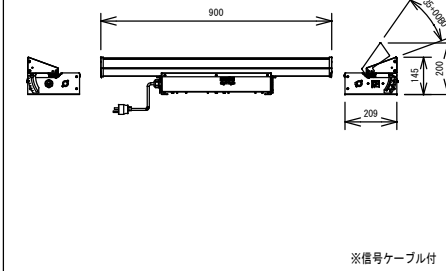
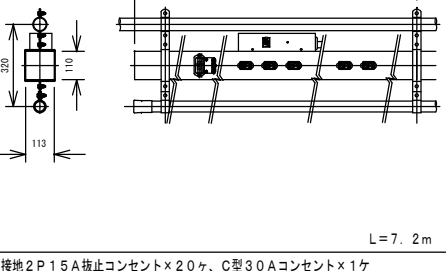
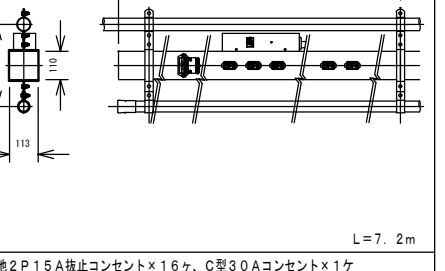
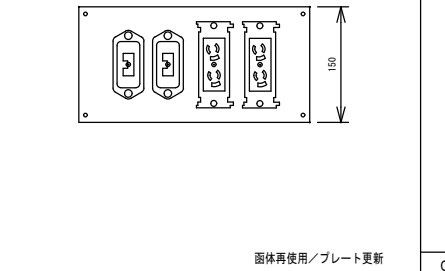
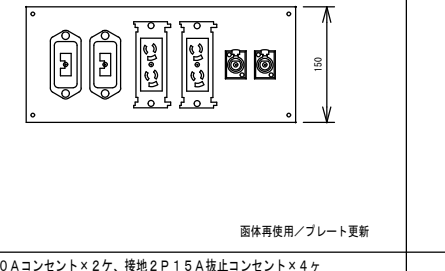
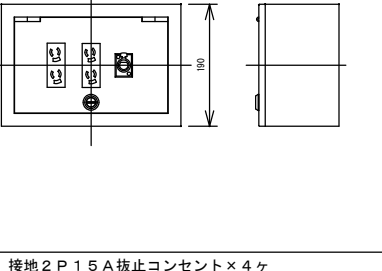
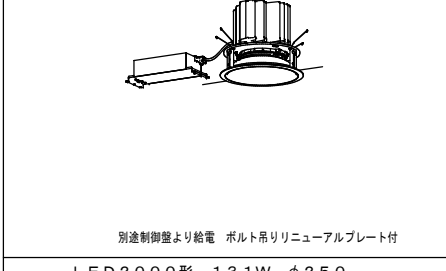
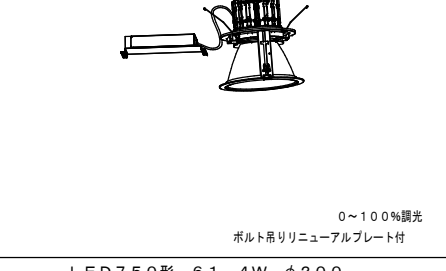
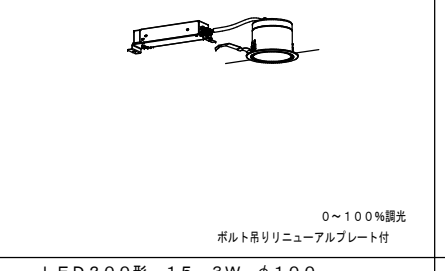
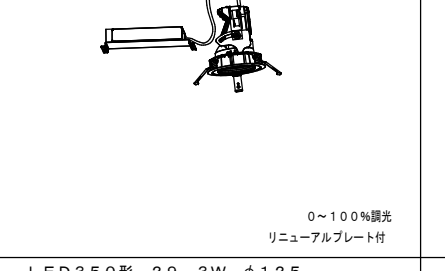
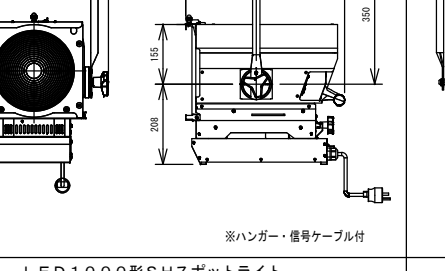
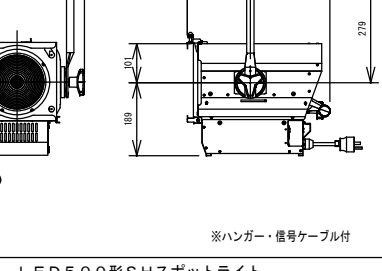
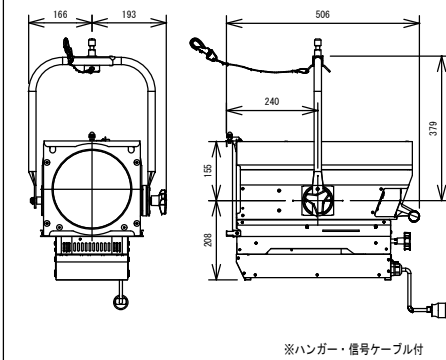
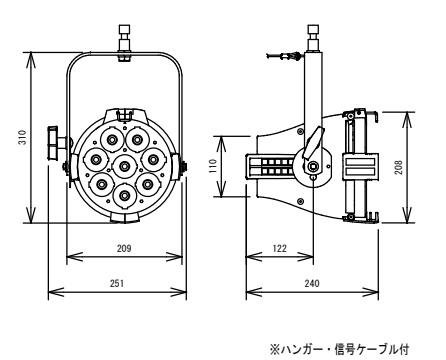
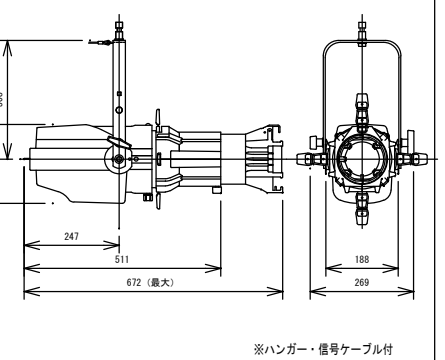
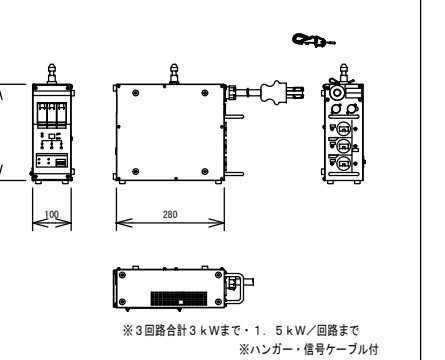
調光装置明細表 1					既設仕様					改修仕様				
記号	名称	仕様	数量	備考	工事内容				仕様	数量	備考			
					撤去	既設	更新	新設						
1	調光盤	自立列盤型	1式			○			自立列盤型	1式				
		入力電源 1 AC 3φ4W 182V/105V 60Hz							既設調光盤は再使用（一部は未使用）として残置とする					
		入力主幹 1 MCCB 4P 800AF/800AT 240kVA	× 1台						・入力1の調光ユニット及び分岐ブレーカは未使用（ブレーカOFF）とする					
		操作主幹 MCCB 2P 50AF/20AT	× 1台						・入力2は未使用（全てブレーカOFF）とする					
		制御主幹 MCCB 4P 50AF/15AT	× 1台						・入力1からLED制御盤へ幹線振替を行うものとする					
		調光ユニットIL100V30A (MCCB1P付) × 12回路	× 15台						・LED調光制御盤へ負荷線振替を行うものとする					
		直回路ブレーカ MCCB 3P 50AF/20AT	× 2台											
		スレーブユニット	× 1式											
		開数ユニット (MAIN/SUB) : DMX制御	× 1式											
		冷却ファン	× 1式											
		UPS (1kVA 常時インバータ式)	× 1台											
		電流計、電圧計、同切替器、受電灯、給電灯・操作灯	× 1式											
		入力電源 2 AC 3φ4W 182V/105V 60Hz												
		入力主幹 2 MCCB 4P 225AF/150AT 45kVA	× 1台											
		作業灯主幹 MCCB 2P 50AF/20AT	× 1台											
		制御主幹 MCCB 4P 50AF/15AT	× 1台											
		調光ユニットIL100V20A (MCCB1P付) × 12回路	× 2台						客席用、内7回路予備 N-SW付					
		直回路ブレーカ MCCB 1P 50AF/20AT	× 1台						予備 N-SW付					
		スレーブユニット	× 1式											
		開数ユニット (MAIN/SUB) : DMX制御	× 1式											
		冷却ファン	× 1式											
		電流計、電圧計、同切替器、受電灯、給電灯・操作灯	× 1式											
2	LED調光制御盤								壁据置型	1式				
		入力電源 AC 3φ4W 182V/105V 60Hz									CVQ100sq			
		入力主幹 MCCB 4P 225AF/225AT 67.5kVA	× 1台											
		直回路ブレーカ RMCCB 2P 30AF/20AT (電源管理回路)	× 32台											
		直回路ブレーカ MCCB 2P 50AF/15AT	× 2台								操作主幹含む			
		直回路ブレーカ MCCB 2P 50AF/40AT	× 18台											
		直回路ブレーカ MCCB 4P 50AF/20AT	× 2台								PIN用			
		監視制御コンボ	× 1式											
		DMXノード (1N端子: 4ポート)	× 1台								2Fギャラリ-上手・下手の入力を合成、舞台袖上手・下手の入力を合成			
		DMX信号分配コンボ	× 3台											
		伝送信号分配コンボ	× 1台											
		PWM信号分配コンボ	× 1台											
		電源管理制御部 (32回路)	× 1式											
3	調光操作卓	卓上型 (専用デスク付)	1式						卓上型 (専用デスク付)	1式				
		最大制御回路/チャンネル 1024回路/1000チャンネル							最大制御回路/チャンネル 512回路/80チャンネル					
		マスタフェーダ × 1本	× 1本						マスタフェーダ × 1本					
		プリセットフェーダ × 80本	× 3段						プリセットフェーダ × 40本	× 2段				
		クロスフェーダ × 1組	× 1組						クロスフェーダ × 1組					
		サブマスタフェーダ (ピアノスイッチ付) × 24本	× 24本						サブマスタフェーダ (ピアノスイッチ付) × 20本					
		メモリー操作部 × 1式	× 1式						シーン選択スイッチ × 20ヶ	× 10ページ				
		最大記憶数 シーン : 1000シーン							メモリー操作部 × 1式					
		14インチCRTディスプレイ × 2台	× 2台						最大記憶数 シーン : 200シーン					
		客席照明操作部 (自動: 明・止・暗/手動: MF×1, SF×5/記憶)	× 1組						自動再生 : 3パターン					
		主幹1操作スイッチ × 1組	× 1組						パッチ場面 : 3場面					
		操作主幹スイッチ × 1組	× 1組						カラー器具操作部 (16グループ)	× 1式				
		サブマスタ操作場所切替スイッチ (操作卓/舞台袖) × 1組	× 1組						最大制御回路/チャンネル 512回路/512チャンネル					
		ワイヤレス操作スイッチ × 1ヶ	× 1ヶ						最大制御パラメータ 20チャンネル/台					
		操作卓操作場所切替スイッチ (操作卓/持込卓) × 1組	× 1組						カラー記憶パターン数 16パターン					
		フル2線式リモコンスイッチ × 4ヶ	× 5組						客席照明操作部 (自動: 明・設・止・暗/手動: MF×1, SF×5/記憶)	× 1式				
		開数切替キースイッチ (NOMAL/BACKUP) × 1組	× 1組						操作卓操作場所選択スイッチ (操作卓/1F客席/2Fギャラリ-/舞台袖)	× 1組				
		調光卓DMX出力切替キースイッチ (NOMAL/BACKUP) × 1組	× 1組						フル2線式リモコンスイッチ × 4ヶ	× 5組	スイッチカバー付 別途照明制御盤へ 点灯パターン…1~17・通路・全照明・作業灯			
		電流計、電圧計、同切替器 × 1式	× 1式						デスク・中継ケーブル (3m)・中継ケーブル (15m) ※袖持込時に使用	× 1式				
		卓下制御部 × 1式	× 1式											
4	調光操作卓用コネクタボックス								ボックス型	3面				
	(調整室・舞台上手・舞台下手)								電源コンセント (接地2P15A抜止コンセント)	× 2ヶ	操作主幹ブレーカより給電 (操作卓電源)			
									DMX信号入力用コネクタ	× 1系統				
									制御用コネクタ (5P・15P)	× 2ヶ				

調光装置明細表 2

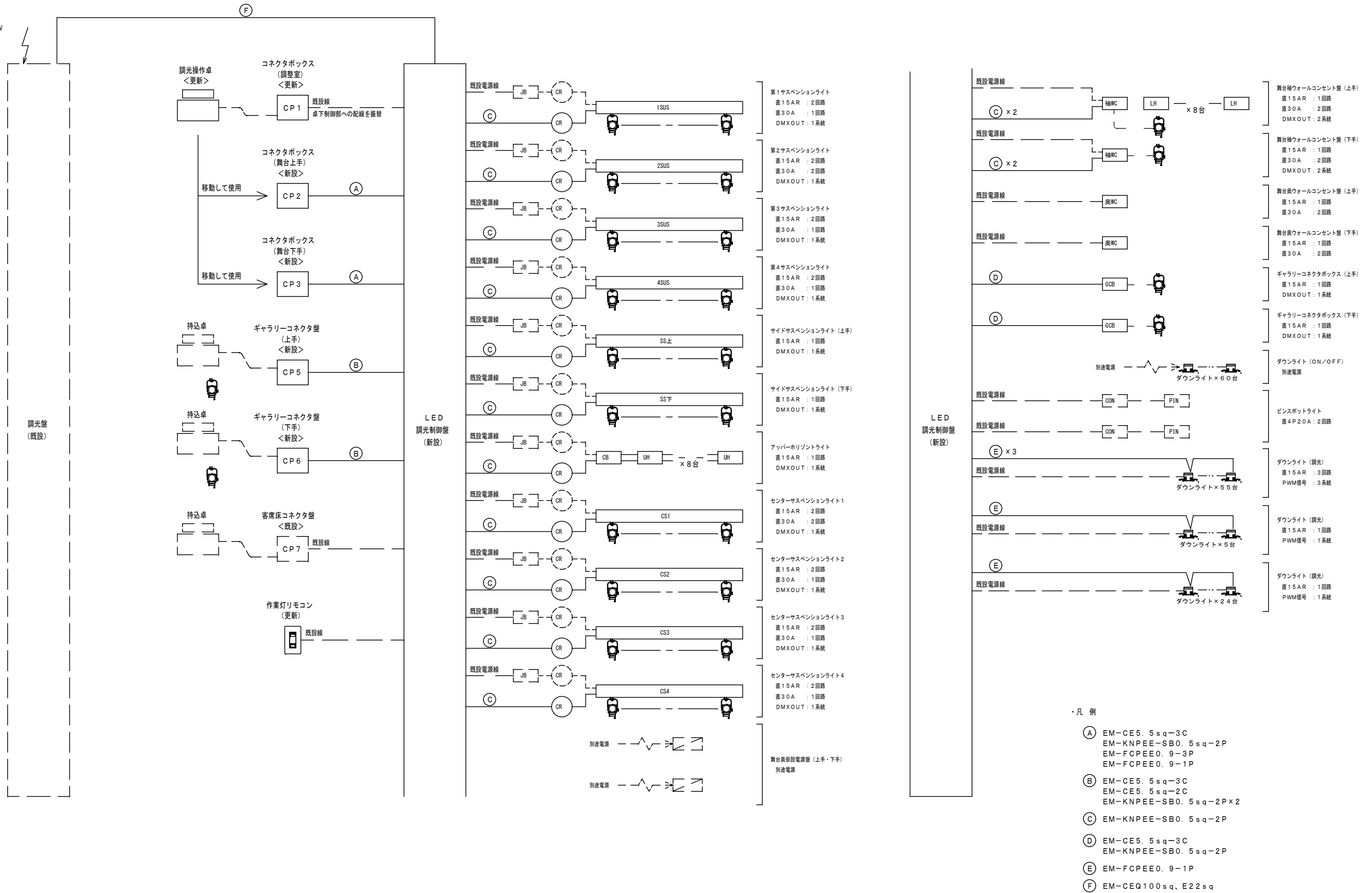
記号	名称	既設仕様			工事内容				改修仕様		
		仕様	数量	備考	撤去	既設	更新	新設	仕様	数量	備考
5	ギャラリーコネクタ盤 (上手・下手)						○	ボックス型	2面		
								電源コンセント (接地2P15A抜止コンセント)	× 2ヶ	操作主幹ブレーカより給電 (操作卓電源)	
								電源コンセント (接地2P15A抜止コンセント) 1回路	× 2ヶ	直回路ブレーカより給電	
								DMX信号入力コネクタ・DMX信号出力コネクタ	× 各1系統		
6	客席床コネクタ盤	プレート型	1面		○			プレート型	1面		
		電源コンセント (接地2P15A抜止コンセント)	× 2ヶ	操作主幹ブレーカより給電 (操作卓電源)				同左			
		DMX信号入力コネクタ	× 1系統								
7	舞台袖操作卓	卓上型	1式	舞台袖操作卓用コネクタに接続	○						
		サブマスタフェーダ	× 10本	操作可能表示灯付							
		自動調光操作部 (明・止・暗)	× 1組								
		フル2線式リモコンスイッチ	× 1ヶ	スイッチカバー付 別途照明制御盤へ 点灯パターン作業灯							
		中継ケーブル (1.0m)	× 1式								
		同上用コネクタ	× 1式								
8	作業灯リモコン	新金属プレート型	1面			○		新金属プレート型	1面		
		フル2線式リモコンスイッチ	× 1ヶ	スイッチカバー付 信号は別途制御盤へ				フル2線式リモコンスイッチ	× 1ヶ	スイッチカバー付 信号は別途制御盤へ	

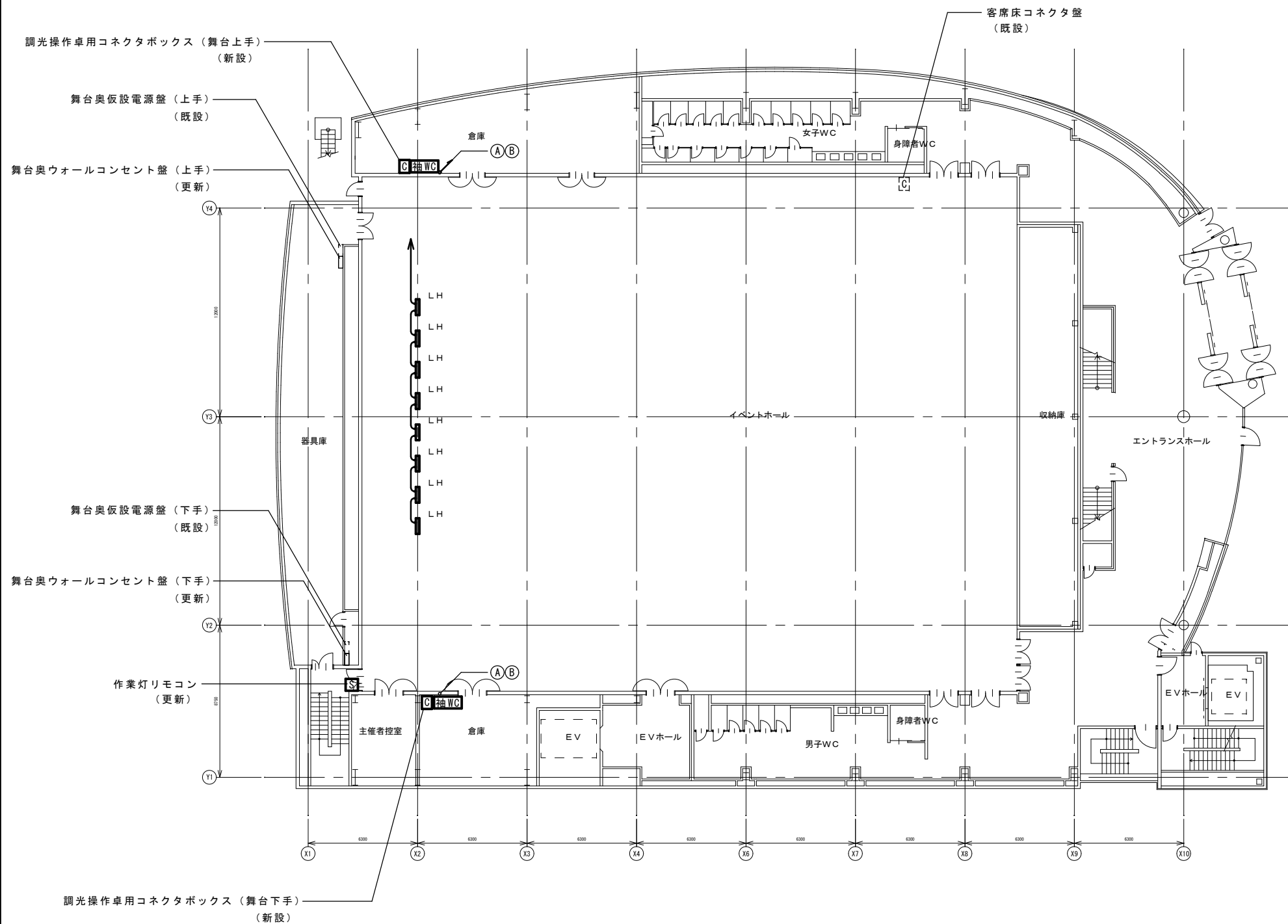
調光装置外観図



1 S 第1サスペンションフライダクト	2 S 第2サスペンションフライダクト	SS サイドサスペンションフライダクト	UH アッパー水平トライト	UH コンセントボックス	共通 ケーブルリール
3 S 第3サスペンションフライダクト					
4 S 第4サスペンションフライダクト					
 L=14.4m	 L=14.4m	 L=5.4m	 ※信号ケーブル付		
接地2P15A抜止コンセント×24ヶ、C型30Aコンセント×1ヶ DMX信号出力コネクタ×1系統	接地2P15A抜止コンセント×24ヶ、C型30Aコンセント×2ヶ DMX信号出力コネクタ×1系統	接地2P15A抜止コンセント×8ヶ DMX信号出力コネクタ×1系統	フルカラーLED (RGBAES)	DMX信号出力コネクタ×1系統	DMX1系統 2.0m 丸型用
LH ローア水平トライト	CS1 センターサスペンションフライダクト1	CS2 センターサスペンションフライダクト2	奥WC 舞台奥ウォールコンセント盤 (上手・下手)	袖WC 舞台袖ウォールコンセント盤 (上手・下手)	GCB ギャラリーコネクタボックス (上手・下手)
	CS3 センターサスペンションフライダクト3	CS4 センターサスペンションフライダクト4			
 ※信号ケーブル付	 L=7.2m	 L=7.2m	 面体再使用/プレート更新	 面体再使用/プレート更新	
フルカラーLED (RGBAES)	DMX信号出力コネクタ×1系統	DMX信号出力コネクタ×1系統	C型30Aコンセント×2ヶ、接地2P15A抜止コンセント×4ヶ	DMX信号出力コネクタ×2系統	DMX信号出力コネクタ×1系統
H67 ダウンライト (ON/OFF)	H68 ダウンライト (調光)	H70 ダウンライト (調光)	H71 ダウンライト (調光)	備品 フレネルスポットライト	備品 フレネルスポットライト
 別途制御盤より給電 ボルト吊りリニューアルプレート付	 0~100%調光 ボルト吊りリニューアルプレート付	 0~100%調光 ボルト吊りリニューアルプレート付	 0~100%調光 リニューアルプレート付	 ※ハンガー・信号ケーブル付	 ※ハンガー・信号ケーブル付
LED2000形 131W φ250	LED750形 61.4W φ200	LED200形 15.3W φ100	LED350形 29.3W φ125	LED1000形SHスポットライト	LED500形SHスポットライト
備品 平凸スポットライト	備品 スポットライト	備品 エリプソイダルスポットライト	備品 可搬型調光器		
 ※ハンガー・信号ケーブル付	 ※ハンガー・信号ケーブル付	 ※ハンガー・信号ケーブル付	 ※3回路合計3kWまで・1.5kW/回路まで ※ハンガー・信号ケーブル付		
LED1000形FMスポットライト	LEDフルカラーバーライト (RGBL)	LEDエリプソイダルスポットライト (RGBL)	調光15A×3回路 DMXタイプ		

入力電源 AC 3φ4W
182V/105V 60Hz





■凡例

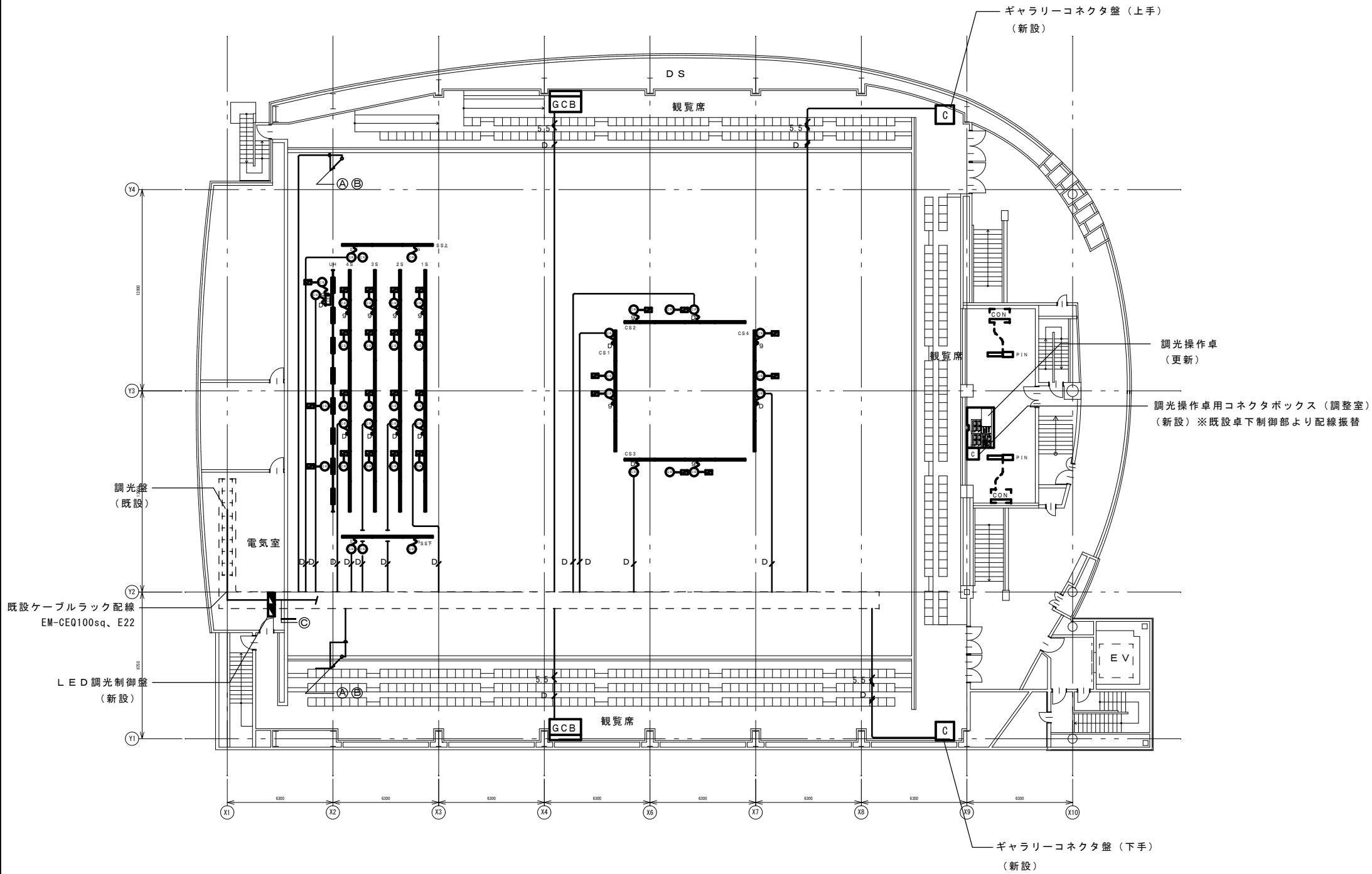
記号	名称
LH	ローアホリゾントライト 【更新】
袖WC	舞台袖ウォールコンセント盤 (上手・下手) 【プレート更新】

■配線凡例

記号	配線仕様
(A)	EM-CE5. 5sq-3C (既設配管)
	EM-KNPEE-SB0. 5sq-2P
	EM-FCPEE0. 9-3P
	EM-FCPEE0. 9-1P
(B)	EM-KNPEE-SB0. 5sq-2P×2 (既設配管)
☒	プルボックス

■特記事項

- 記載なき配線は既設配線を使用するものとする。
- 配線の立上げ、引下げ、隠蔽配線箇所は配管にて保護するものとする。
- 露出にて施工部分の配管、プルボックス等は指定色塗装とする。
- ウォールコンセント等の金属製外箱にはD種接地工事を施すものとする。
- 負荷線と信号線は離して配線するものとし、音響設備との調整を十分に行うものとする。
- 特記なき配線は、配線凡例によるものとする。



■凡例

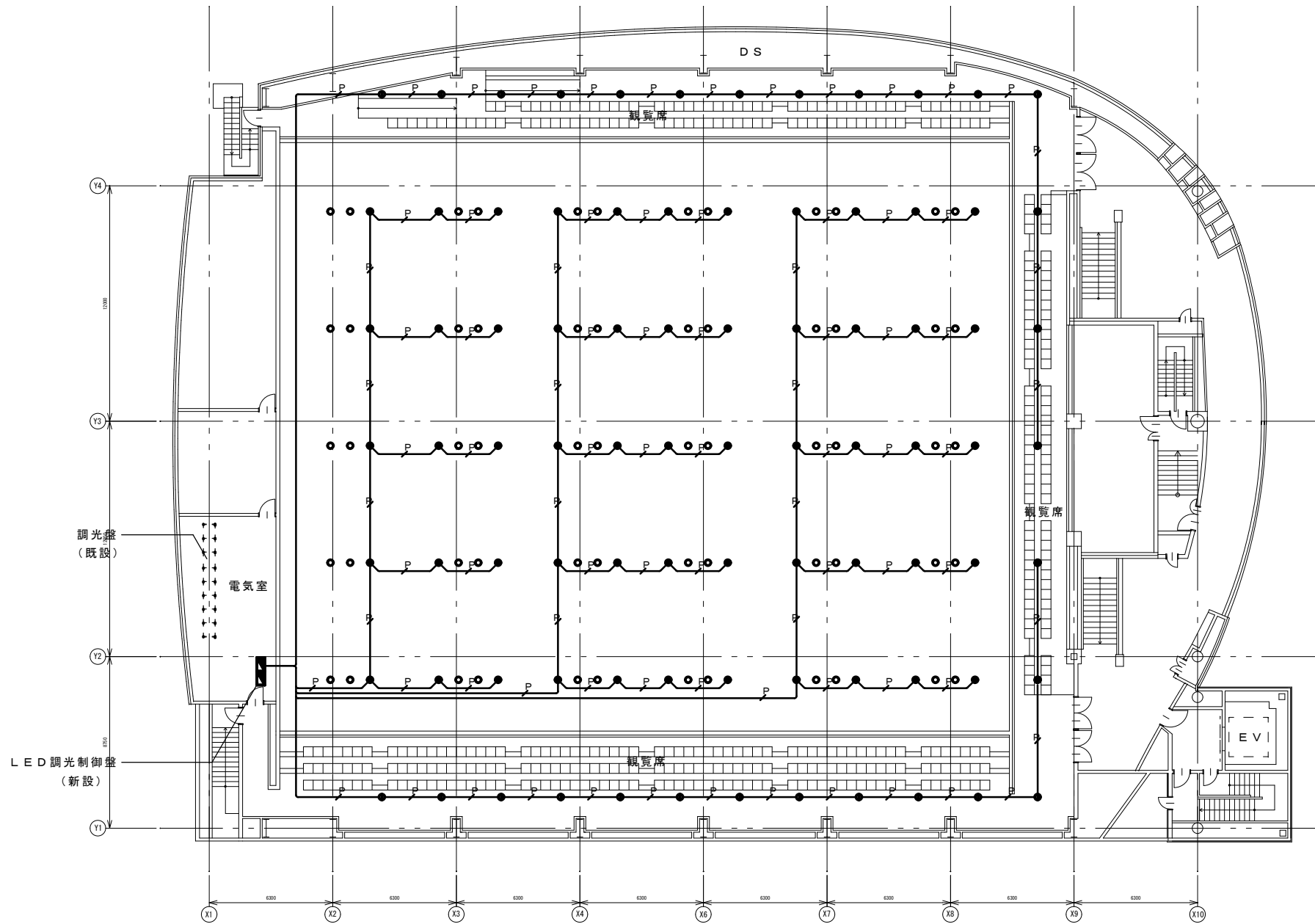
記号	名称
1~4 S	第1~4サスペンションフライダクト 【更新】
SS上	サイドサスペンションライト (上手) 【更新】
SS下	サイドサスペンションライト (下手) 【更新】
UH	アッパーホリゾンライト 【更新】
UH [CB]	アッパーホリゾンライト用コンセントボックス 【更新】
CS1~4	センターサスペンションフライダクト1~4 【更新】
CR	電源用ケーブルリール 【既設】
CR	DMX用ケーブルリール 【新設】
9	ボーダーケーブル (電源用9c) 【既設】
D	ボーダーケーブル (DMX用) 【新設】
□	ジョイントボックス 【既設】
GCB	ギャラリーコネクタボックス 【新設】
PIN	ピンスポットライト 【既設】
CON	ピンスポットライト用コンセント 【既設】

■配線凡例

記号	配線仕様
D	EM-KNPEE-SB0. 5sq-2P (E25)
D	EM-KNPEE-SB0. 5sq-2P×2 (E31)
5.5	EM-CE5. 5sq-3C (E31)
5.5	EM-CE5. 5sq-2C (E31)
A	EM-CE5. 5sq-3C (既設配管)
	EM-KNPEE-SB0. 5sq-2P
	EM-FCPEE0. 9-3P
B	EM-FCPEE0. 9-1P
	EM-KNPEE-SB0. 5sq-2P×2 (既設配管)
C	既設ケーブルラック W1000 (セパレータ付 LED調光制御盤へ)
	EM-CE5. 5sq-3C×6
	EM-CE5. 5sq-2C×2
	EM-KNPEE-SB0. 5sq-2P×23
	EM-FCPEE0. 9-3P×2
	EM-FCPEE0. 9-1P×2

■特記事項

- 記載なき配線は既設配線を使用するものとする。
- 配線の立上げ、引下げ、隠蔽配線箇所は配管にて保護するものとする。
- 露出にて施工部分の配管、プルボックス等は指定色塗装とする。
- ウォールコンセント等の金属製外箱にはD種接地工事を施すものとする。
- 負荷線と信号線は離して配線するものとし、音響設備との調整を十分にを行うものとする。
- 特記なき配線は、配線凡例によるものとする。



■凡例

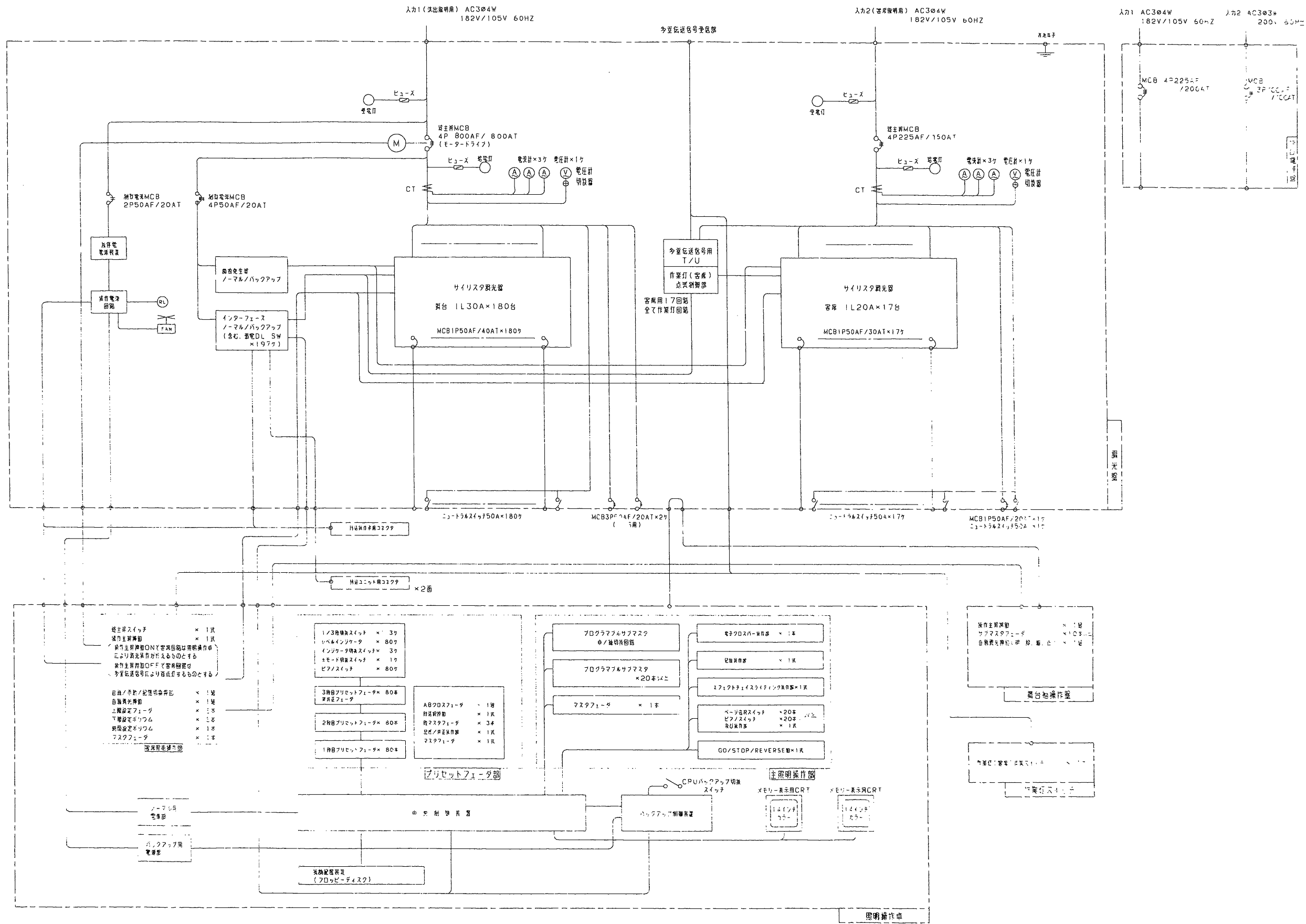
記号	名称
H67 ○	ダウンライト (ON/OFF) × 60台 【更新】 LED2000形 φ250 ボルト吊りリニューアルプレート付
H68 ◎	ダウンライト (調光) × 55台 【更新】 LED750形 φ200 ボルト吊りリニューアルプレート付
H70 ●	ダウンライト (調光) × 5台 【更新】 LED200形 φ100 ボルト吊りリニューアルプレート付
H71 ①	ダウンライト (調光) × 24台 【更新】 LED350形 φ125 リニューアルプレート付

■配線凡例

記号	配線仕様
P	EM-FCPEE0.9-1P (天井裏ころがし)

■特記事項

1. 記載なき配線は既設配線を使用するものとする。
2. 配線の立上げ、引下げ、隠蔽配線箇所は配管にて保護するものとする。
3. 露出にて施工部分の配管、プルボックス等は指定色塗装とする。
4. ウォールコンセント等の金属製外箱にはD種接地工事を施すものとする。
5. 負荷線と信号線は離して配線するものとし、音響設備との調整を十分にを行うものとする。
6. 特記なき配線は、配線凡例によるものとする。



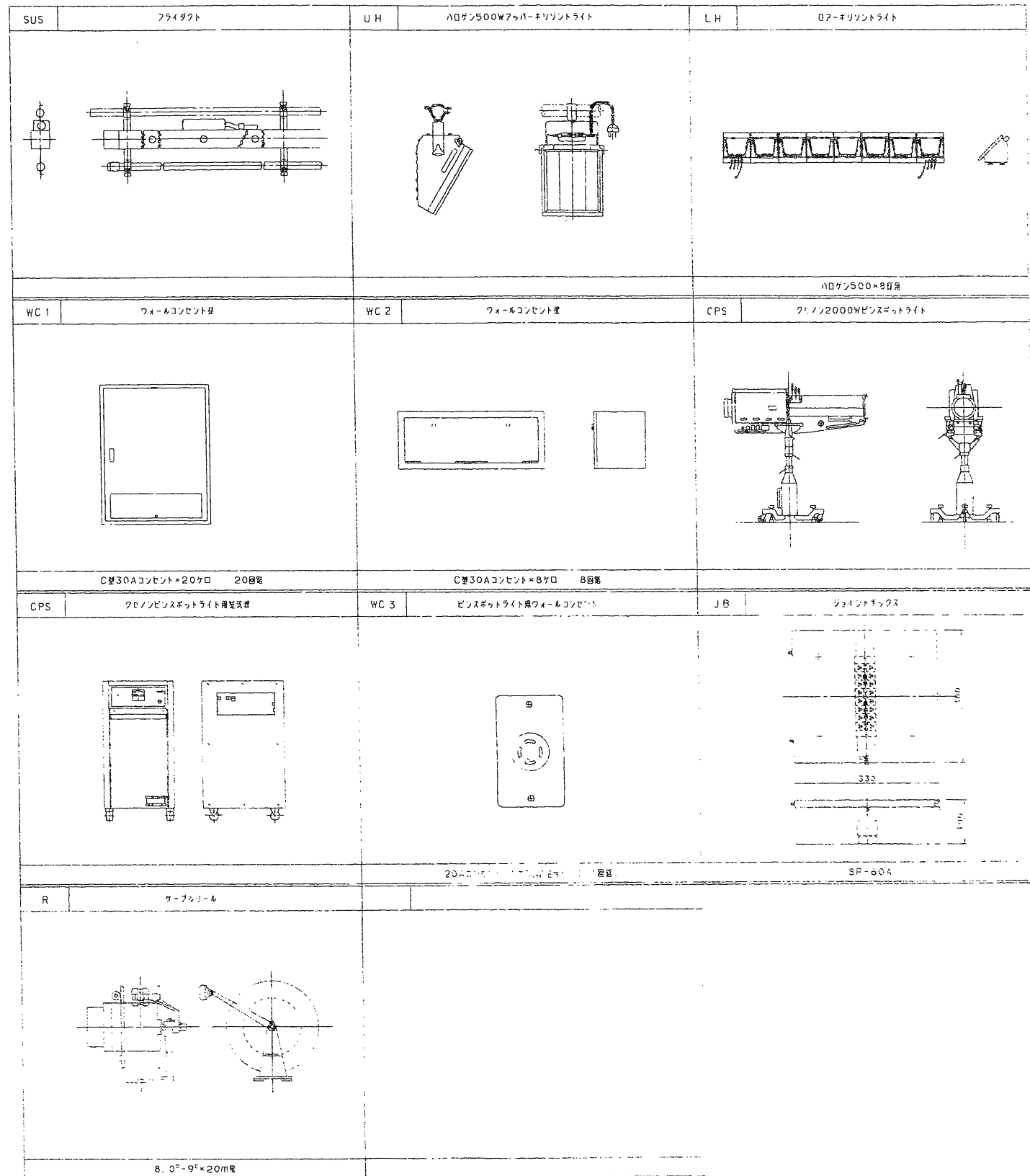
イベントホール照明器具明細表

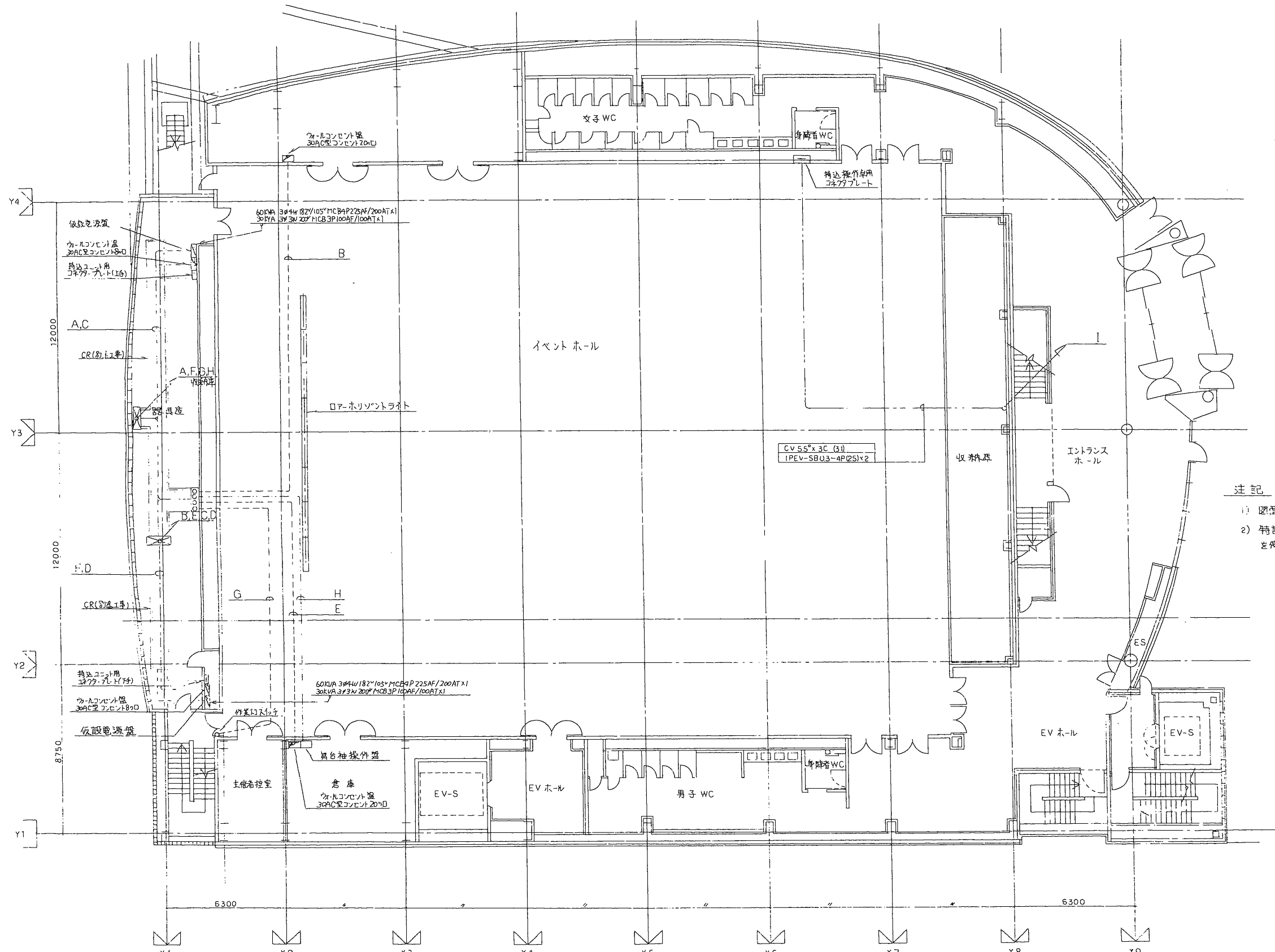
記号	名 称	仕 様	数量	全長 m	負荷容量 KVA	回路数	調光ユニット	備 考
(次出用照明器具)								
U-SUS	アップ-ネリソントライト用フライト	C型20Aコンセント×54ヶ所 (12回路)	1冊	14.4	27000	12	IL100V30A	
UH	両上層アップ-ネリソントライト	ADゲン500Wアップ-ネリソントライト	54台					
SUS	サスベションフライト	C型20Aコンセント×48ヶ所 (16回路)	4列	14.4	128000	64	IL100V30A	
S-SUS	サイドサスベションフライト	C型20Aコンセント×24ヶ所 (8回路)	2列	5.4	32000	16	IL100V30A	
C-SUS	センターサスベションフライト	C型20Aコンセント×24ヶ所 (8回路)	4列	7.2	96000	32	IL100V30A	
LH	ロー-ネリソントライト	ADゲン500W×8回路	8台					
WC1	ウォームコンセント取	C型30Aコンセント×20ヶ所 (20回路)	2台		120000	40	IL100V30A	
WC2	ウォームコンセント取	C型30Aコンセント×8ヶ所 (8回路)	2台		48000	16	IL100V30A	
CPS	センターピンスポットライト	クレン2000Wピンスポットライト	2台					スタンド、基座取付
WC3	両上層ウォームコンセントボックス	20Aコンセント×1ヶ所(4P EM) (1回路)	2台		8400**	2		
JB	ジョイントボックス	SP-60A	31台					
B	ボードケーブル	8.0°-9°×20m	31本					
R	ケーブルリール	8.0°-9°×20m用	31台					
	ネジランプ	容量0.10%	1式					8.クレンピン
	カラーフィルム	茶紫色	500枚					
合計								
		次出用出力回路 (1L)			451000	180	IL100V30A	
		次出用出力回路 (3φ182V)			8400**	2		
		客用出力回路 (1L)			33120	17	IL100V20A	
		客用出力回路 (100V)			2000	81		

イベントホール調光設備明細表

記号	名 称	仕 様	数量	備 考
(調光装置)				
1	調光器	入力電圧1 AC3φ4W182V/105V60Hz 入力主幹MCB 4P 800AF / 800AT 次出用出力回路 1L100V30Aユニット×180台 MCB 1P 50AF/40AT×180 次出用出力MCB 3P 50AF / 20AT × 2 入力電圧2 AC3φ4W182V/105V60Hz 入力主幹MCB 4P 225AF / 150 AT 客用出力回路 1L100V20Aユニット×17台 MCB 1P 50AF / 40AT×17 次出用出力MCB 2P 50AF / 20AT × 1	1式	
2	照明操作台(両上層)	記憶シーン数 1000シーン エレフト 99ボタン×8×1000ステップ ボタン調整機能付 中央制御盤 21×51×25cm プリセットフェーダ 3台/1台-1台調整機能付 最大調光回路数 1004回路 パラレルランニングによるバックアップ機能付 最大調光チャンネル数 1000チャンネル 3.5インチプロペラによる外部設置機能付 操作主幹スイッチ 1台 作業用切替スイッチ(両台/操作用) 1組 ブランドマスターフェーダ 1台 プリセットフェーダ 80台×3台 フリーフェーダ 6台 (客用制御部) サブマスターフェーダ 24台×20ベージ 操作主幹 1組 1:CHマスター/フリー/スロート/4次元 設定機能付 客用実用切替制御(自動/手動/記憶) 1組 6-フェーダ 1台 客用自動切替制御(明/暗/全/無) 1組 パートフェーダ 4台 客用自動切替フェーダ(マスターフェーダ) 1本 CUE 自動再生機能付 1組 客用手動切替制御(マスターフェーダ) エレフトスピード調整ボリューム 1台 及び設定ボリューム 5組 調整部 1式 CRT 2台	1式	
3	照明制御盤(両上層)	縦形3相×1式、ケーブルフェーダ×10台、客用自動切替制御(明/暗/全/無)×1組	1式	
4	照明制御盤(両上層)	21×51×25cm、重量約25kg	1台	
5	特設ユニット用コネクタプレート	480×74×70×2ヶ所	2台	
6	作業用ケーブル		1台	
7	調整電源	3φ4W182V/105V HCB4P 225AF / 20AT 3φ3W200V HCB 3P 100AF / 100AT	2台	

イベントホール照明器具図(参考)





A, F	CPEV-S0.9-10P(31)×4
B, E	CV14-4C×2 F55°(50)×5
C, D	CV14-4C×2 F55°(51)×2
G	CPEV-S0.9-3P(25)×1
I	CV 5.5 ⁴ -3C(31) IPEV-SB0.3-4P(25)×2
H	CPEV-S0.9-10P(31)×2

- 注記
- 1) 図面上の配線は全て誘光管に接続とする
 - 2) 特記無き配線は全て600Vビニル絶縁電線を
を使用するものとする

4階平面図 (S=1/100)

山口県国際総合センター	年度	6	工事名	山口県国際総合センターイベントホール照明設備改修工事	(参考図) 既設4階平面図	17 - 16
	山口県国際総合センター	級建築士登録 第 号	印	設計変更 回		

